

【本講座開設の主旨説明】 森保洋之（広島工業大学・環境学部・環境デザイン学科・地域環境学科・教授、同大・共同研究機構「地域・集落計画研究センター」センター長）

- ① 大学が借り上げている宮島の町家（旧・佐々邸＝通称「宮島こもん」）において、今年度末までの毎月2回（第1・第3土曜日）、卓話的会（座談会）の形式で開講。5月15日（土）に初講。
- ② 大学の研究者等の側から、地域・まち・集落づくりに関する日頃の幅広い研究成果を地域に還元する。その上で、地域住民と大学の研究者等々が、宮島・他の地域の町並みの魅力・他について語り合う講座。

【講話題目】 地域・集落に関する計画研究と再生支援（講師） 森保洋之（前出）

- ① 祝島集落研究プロジェクト（＝祝島集落研究＋祝島集落再生支援活動）から見えてきた「社会環境システム」（＝自然環境＋物的環境＋社会的環境）という考え方の大事さ。「創る」だけではなく、「育む」「守る」ことの大事さ。そうしたことから、地域・集落の空間等の構成、その仕組み、それへの対応の方策・制度等々を得ることの大事さ。そうしたことに対する、「集落研究」の基盤性・存在性の確認・重視。
- ② これらを通して、「集落再生支援活動」を行うことの大事さ。「研究」から「活動」への進展の意図。
- ③ その上で、「地域・集落再生」への眼差し（地平の確認）へと進化させ、その実質化を図る。
- ④ 更に、こうしたことを通して、「地域・集落計画学」形成へのスパイラルアップを今後に期待したい。「説」⇒「論」⇒「学」という流れ（進展）の認識と、各段階を重視することの大事さの確認。
- ⑤ 故に、狭義の「モノづくり」計画技術から、よりソーシャルな際（きわ）を極めようとする広義の「モノ・コト・仕組みづくり」技術への変換の必要。その為に地域・集落に関して、「自然・風土・歴史」、「生活組織・祭事（ソフトシステム）」等々との絡みから、「集落の構成原理（ハードシステム）」を追及し、「空間論」「生活論」から、「計画論」、そして更には「制度論（含、マネジメント論）」への進展・深まりを意図する研究展開を重視したい。

【報告題目】 祝島・宮島集落、その持続性（報告者） 西岡いづみ（本学・大学院：M2生）

- ① 持続性の定義を「自然に順応しており、自然に多大な負荷を与えず、生活・空間等が維持・保全され続けること」と設定し、持続性の枠組み（仮説）を立てた。それを基に、集落の持続性の内容の関係性を分析した。
- ② 祝島集落と宮島集落を対象として、持続性の要因・内容に関する調査を行った。
- ③ 祝島集落では、古材が、島の共有材になっていたと考えられる点、練塀が連続して道の両側にあり、主要な道、そして「路居」を形成している点、“惣・講・区・株・トウド”等の生活組織があり、これらが集落全体の空間構成（構造）の形成基盤となっている点、等々が得られた。
- ④ 更に、祝島集落では、生活組織のうちの、特に「株」等に支えられながら、「練塀」や「通り抜け等の共用空間」、「株のまとまり」、更には「祭事（神舞）」等々が存在し、このことが、集住し持続的に住まうこと、その知恵・方法・技術に、大きく関わるものと考えられた。
- ⑤ 宮島では、「通り」に属する「小路・路地、通り抜け等」や、「祭事」等々の要素が、集落の持続性に係る重要な要素であるものと考えられた。（現段階での考察結果）
- ⑥ 総じて、集落個別に、特徴ある、集落持続の構造があるものと推察された。

【報告題目】 宮島の町家・家並み、その順応性（報告者） 佐々木香菜子（本学・大学院：M2生）

- ① 宮島門前町東集落を対象とし、「順応性」について考察している。順応性には、(1) 家・敷地に順応、(2) 隣家や家並み・町並みに順応、(3) 気候・起伏等（大きな）自然に順応の「3つの場への順応」があり、それらは相互に関連をもつ。
- ② これらの「場への順応」は、生活形態と室内・室外・外部環境等と関係を有し、そのことから「開放面は2面（4面）になり易い」、「簾戸：風は入れ込むが、視線や虫は遮る」、「隣家同士で風を入れ込み易い位置関係」等々、16の要因が抽出された。更に、住民、建築家、大工・左官さん、等々へのインタビュー調査により、順応性の要因に関連する「より具体的内容」を得た。その中には、町家相互の間隔の狭さから生まれる「（相隣関係における）規範的ルール」の存在も伺えた。
- ③ 佐々邸での夏季の環境工学的実測調査により、室温は1階より2階の方が高く、通り側より坪庭側の方が低い傾向が得られた。更に、坪庭の影響・効果を検討し、気温が低い時間帯は海風が卓越し、冷涼な気流が坪庭に下降気流として流入する傾向を得た。
- ④ 町家通りの坪庭の位置は、間取りの性格から、結果的に、通りに対して「ほぼ横並び・平行」となり、海風は流れ易く、それぞれの町家の坪庭に、風は入り易いものとなっていた。

【講座・会場】 広島工業大学・地域環境宮島学習センター：通称「宮島こもん」（旧・佐々邸）

【同時開催行事：土間パネル展】・・・パネル説明・・・【参加者数】 29名（定員25名） ー以上ー



茂里学長の挨拶・質問風景



院生の発表風景